

新日本華道秀作集



著者 西村雲



西村 三郎

芸術家とは、才能があって、いつも初心者の
つもりしている人間のことだ。

(カテゴリー)

ごあいさつ

いけばなは作品が残らない。まことにあわい、はかない芸術であります。しかし、無形の偉大な力が、人間の、心の、奥深く、そして表面にも、ちゅんと残されているのです。こんな尊いものは他に見られません。自然美に倣し、それを種々な情景に表現してゆこうとする、その無我の努めの中に、人間の美にも、表面にも、作品はちゅんと残されてゆくことを知らねばならないでしょう。これが私がいつもいう、いけばなの人づくりであります。

この作品展は、昨年本会の創始二十五周年を記念して、その歩みを作品を通じて見て頂こうと編集にとりかかったもので、作品のそれぞれの情景が、それぞれ作風の随分異なっていることを知ることが、私の最も喜びとするところであり、本誌が、ただ単なる記念誌に止まることなく、今後のいけばな創造への手引として、ひろく役立つならば、この上ない幸せに思っております。

尚私の作品には、特に、日本数人クラブ会員喜納とわ先生（地中海社同人）が、お褒めをお寄せ下さって、作品に雅趣を添え、一層深く味わうことが出来ますことを、心から感謝申し上げます。

昭和二十八年一月一日

西 村